

2 0 1 9 年 6 月 1 日

社会福祉法人 清松学園

幼保連携認定こども園 かえで保育園

園長 引地美津代



かえで ゆ う び ん 6月号

5 月末におこないました「保護者会」では多数ご出席していただきありがとうございました。2019 年は皆さまとともに一つずつ振り返りながら進んでまいります。テーマ「相手の思いを知り、言葉を届ける」を基本としてこどもを中心に保護者の方々・職員・地域の方々に言葉をもって気持ちを届ける一年にしたいと思います。いつも保護者会でじっと聞いてくださるご父兄に感謝しつつ、一時間で保育の思いを伝えることができたか？理想を語るばかりでなく、現実もしっかりと見聞きし保育の組み立てをしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者会後の企画「カバウマさんと歌って遊ぼう」では、お子様と保護者の方がニコニコ笑顔でお子様と見つめあったり、タッチをしたり少しの時間でしたが、楽しい時を過ごしていただけたかと思います。カバウマさんのパワーと笑顔に拍手です。カバウマさんとは親しい友人を通じて以前にテニスで一緒しました。その時に腰の低さと人への配慮に、なんと素敵な保育士さんだろうと感心していました。その後の話で保育士も魅力的だが、歌でもっと自分を試して広げたいという気持ちでユニットを結成されたそうです。人生、どのように進むか自分のやりたいこと・やれることを模索しながらチャレンジすること。素敵なことですね！応援していきたいです。

以前イチロウ選手の引退会見で「自分に向くか向かないかではなく、好きなものを見つけてチャレンジする。壁があっても好きなもの・目標があると乗り越えられる。目標がないと乗り越えられない」と話されたことを時々その言葉の意味を思い返します。

私も同じような思いで様々な逆境にも「こどもがすき」「この仕事が好き」で乗り越えてきました。好きなことへの努力は惜しまずできること。目標をもっと素敵なこと。

子どもたちにもそう思える目標や思いをたくさん持ち人生をチャレンジしてほしいと思います。

先日、保護者からのご意見がありました。

- ・コミュニケーションの取り方ができていない→状況を的確に伝えられる訓練とサポートを行います
- ・伝達事項が曖昧→記録を取りできるだけ詳しくお伝えします
- ・子どもの様子（どんなことでも）をその日に伝えてほしい→日々のお子様の様子を担任以外でもお伝えできるよう職員の意識を改善します。
- ・0 歳児の連絡ノートの日々の細かい様子を記述してほしい→連絡ノートの書式を変更します

職員の連携や説明義務など、保育園として検討しないといけないことなど緊急職員会議を行い、職員全員で話し合いをしました。一度にスムーズに進めることは難しいことでもありますがお子様の気持ちや一日の出来事はできるだけ丁寧にお伝えしていきます。

お子様のことや子ども同士のやり取りで様子がわからなかったり、疑問に感じられたりした場合は是非、保育者の方にお尋ねいただきますようお願いいたします。私たちもしっかり説明できるよう努めます。

残念なこと 5 月になり、子どもを襲う様々な事件・事故が続いています。心痛むことばかりでやりきれないです。園外保育での事故も通り魔の事件も予測できない事故ですが、「命を守る」私たちの使命は保育者同士の連携・先の見通しをもって行動するなど肝に銘じて保育していきたいと思っています。

・・・おしらせ・・・

かえでカフェは先日皆さんでビデオで踊ったり、スカートづくりであっという間に時間が経ちましたね。山口先生もすぐに連絡を下され、次回の日が決まりました。

7 月 20 日（土）13：00～15：00

スカートもその頃には出来上がります。みんなで楽しみましょう

ダンディタイム

6 月 15 日（土）15：00～19：00に行います。

少しの時間でも結構ですのでお越しください。 おまちしています

にこにこメッセージ

主幹教諭 藤森 寿美

5月は汗ばむような日中、肌寒い朝夕、気温差を感じることの多い月でした。

これからは子どもにとって、外あそびを思う存分楽しめる時です。

色水に泡遊び、しゃぼん玉はもちろんのこと、鬼ごっこ、泥団子作り、砂場あそびとどれもわくわく満喫できます。梅雨に入ると、外で遊ぶことは少なくなりますが、雨も満喫できるような遊びが子どもと共に見つかるといいなと思っています。

最近、子どもを取り巻く悲しいニュースが毎日のように起こっています。子どもを守るためにはどうすればよいか。保護者の方々も不安や心配になることが多くあると思います。

かえで保育園では、毎月の避難訓練（火災・地震津波・台風・不審者など）後、全園児が集まっている中で、担当者が子どもに必ず伝えることを決めています。「お・は・し・も・ち」

㊦おさない、㊧はしらない、㊨しゃべらない、㊩もどらない、㊪ちらばらない

と「自分の命は自分で守る」、最近の事件の内容によっては、違った伝え方の必要性も感じますが今は大人が周りにいることを基本としての言葉を伝えています。まだ小さいからではなく、繰り返し話し伝えることで、訓練の大切さと言葉の意味も理解します。大人が守る安全、子ども自らが守る安全をこれからも園全体で考えて行きたいと思っています。

※ 災害時についてのことは「たいせつなこと」に記しています。今一度確認ください

主幹教諭 藤森 寿美

先日、いぶき、ひかり、だいち組のみんなと一緒に須磨水族館に出かけました。

帰園しお昼寝をしたのですが、起きた後すぐに「イルカショー一番すごかったなあ」と、Aくんが嬉しそうに声をかけてくれました。

その子にとって心に残る瞬間と一緒に共有できたこと、それを分かち合おうと声をかけてくれたことがとても嬉しかったです。そしてわくわくした様子で今にも飛び跳ねそうなイルカの絵を描いていました。

数日後、乳児クラスの保護者の方が声をかけてくださいました。「これは、何を描いたのですか？」「イルカです。イルカがボールを尻尾で上げているところで、一番心に残った瞬間だそうです」それを聞いて、とても感動された様子で絵を見つめておられました。

「素敵ですね」その瞬間、まるで一緒にイルカショーを見ていたような、絵を通してAくんの想いが届いたような、不思議な感覚になりました。

Aくんの感動した気持ちが、別の友だちの保護者の方にも届き、そして人の心を動かしていることに深く感動を覚えた瞬間でした。

更にAくんの想いに気付き、寄り添ってくださった保護者の方の優しさにも触れ、なんだか胸がいっぱいになりました。

副主幹教諭 河本 彩奈

お部屋でおままごとをしていたときのこと。鞆を手に取り、「おかいもの」とお話をしてくれるお友達がいたので「いちご買ってきてね」と声をかけました。するとお部屋を見回し・・・赤色のおもちゃを取って来てくれたのでした。その子の中で「いちご」は「赤色」という概念が生まれ、それが遊びの中に自然と出てきていることに日々の学びを実感しました。また、その学びを共有し、より一層遊ぶ楽しさを広げられたらと思います。

私自身も何を発見し、何に面白いと思っているのかに気付き、そこから遊びを広げていく楽しさを一緒に感じていきたいです。

乳児リーダー 谷角 早紀

仕事に復帰し、早1ヶ月が経ちました。園で子ども達と一緒に過ごしていると毎日が一瞬で過ぎていき、忙しいですがとても充実しています。育児をしながら家事や仕事をするのが自分に出来るのかということも不安だったのですが職場や家族の支えもあり、なんとかこの生活にも慣れてきました。

また、娘がお世話になっている園に慣れ、泣かずに通えるようになったことが1番の安心となりました。慣らし保育ではどの子よりも泣き、なかなか預かり時間が延びず悩んでいたのも、自ら先生の抱っこで登園するようになり嬉しく（そしてちょっぴり寂しく）思います。

今後は、さらにかえて保育園の子ども達との毎日を思い切り楽しんでいけるように過ごしていきます。

木下 明友美

【 今月の先生コーナー 】

みなさんは苦手な食べ物はありますか。私は小さい頃から食わず嫌が多く好き嫌が多い子どもでした。特にその中でも納豆が嫌いでした。嫌だなと思ったきっかけは子どもの頃に親戚の家に行くといとこが納豆を食べている姿に初めて出会い、「においがだめでした。こんな匂いの物は食べたくない」と思いました。ですが、学生の実習先で納豆がでてどうしても食べなくてならない状況になり、頑張って食べてはみたもののやはり美味しいとは感じず、できるだけ食べるのを避けていました。

ところが、就職しかえて保育園で去年やっと食べることができるようになりました。ある日保育園の給食で納豆が出て勇気を出して食べみると「あれ、美味しい。」となり私の中で苦手な食べ物が一つ減りました。食べる前から「無理、美味しくない」とイメージをして食べるのではなく「美味しいかも」と思って食べてみるのが大事なことに気がきました。

保育をしていく中で子ども達が食べ物や苦手なことがあるときはその食材の良いところを伝えたり、好きになってもらえるように、子ども達と一緒に私自身も苦手なことも出来るだけ逃げずに克服していきたいと思います。

植木 雅

～めばえぐみ～

ねらい：「初めての出会いを楽しむ」

う た：「あめふり・オデコサンヲマイテ・かたつむり」

4, 5 月を経て笑顔が多く見られる様になり、園生活に少しずつ慣れてきた子ども達。ハイハイが早くなったり、つかまり立ちが出来るようになったり、昨日より今日、今日より明日、と日々子どもたちの成長に驚かされています。新しいものと出会った時には、びっくりしていたりここに笑顔だったり、興味深そうに見つめたり様々な表情を見せてくれます。これからもどんどん新しい物との出会いを大切にしていきたいと思います。

～あなたはだあれ？～

最近は先生たちだけでなくお友達にも関心が出てきました。お友達がベルを叩いて鳴らしている姿を見つけると、ハイハイで近づいて隣で真似をして鳴らし始めたり、窓越しにお友達を見つけると、お互いを見つめながら窓に顔を押し当てたり…「あ～！」「う～？」とまるでお話をしているかのような姿も見られます。子ども達同士では通じあっているのかも知れないですね。

また、園庭ではめばえ組のお友達だけではなく、お兄さん・お姉さんたちも一緒に遊んでくれます。玩具を差し出してくれたり、お歌を聞かせてくれたり、沢山可愛がってもらっていますよ。



～いただきます！～

毎日の繰り返しを通して、子どもたちもご飯の時間が分かるようになってきました。先生がエプロンと三角巾を着けていると柵や棚に立って「ご飯できた？」「僕の番だね？」「食べたいなあ」とカーテンの隙間からこちらを見つめています。準備が出来て迎えに来てもらうととっても嬉しそうな顔をしてぎゅっと抱き着いています。席につくとエプロンを着けて手を拭いてもらうことも覚え、先生の「いただきます」に合わせて手を合わせたり、ぺこっとお辞儀をしたりしてくれます。いただきますの後には、ごはんをモリモリ食べています。実は、今年のめばえさん「よく食べる」と評判なんです。

“担任の思い”

これまで園庭では先生に抱っこをしてもらったり、バギーに乗ったり、緑のマットの上で過ごすことの多かっためばえ組の子ども達。毎日の園庭遊びを通して少しずつ、自分の興味のあるところや物へも向かっていくようになりました。玩具はもちろん、土や葉、泥にも興味津々です。砂場に行ったり、金魚の水槽を眺めたり、築山を登ってみたり、行動範囲がどんどん広がってきました。これから夏の遊びでは、水や絵の具も登場します。子ども達が出会う初めて、広がっていく世界と一緒に楽しんで行きたいと思います。

立田 瑛怜菜・高田 奈沙・植木 雅

ねらい：「自然に触れて・感じてあそぼう」

う た：「あめふりくまのこ」「てをたたきましょう」 わらべうた：「トウキョウト」

天気の良い日が多かった 5 月は、たくさん園庭に出てあそびました。園庭に出てあそぶのが大好きな子ども達は、走り回ったりどろんこになったり、全身を使ってよくあそんでいます。お部屋の中でもじっくり一つの遊びを楽しんでいたりと、お友達や保育者と関わることも楽しくなってきたようで“一緒に” あそんでいる姿をたくさん見かけるようになってきました。



“まねっこだいすき”

はいはいをしているお友達の真似をし始めると、何人が集まってきてお部屋の端から端まで、はいはいレースが始まりました。お友達のしていること、他のクラスのお兄ちゃんお姉ちゃんの真似をするのがとっても楽しいふたばさんです。まだ歩けないお友達に対して、視線をその子に合わせて話すようなほっこりする一コマもよく見られます。



もう一方では、お部屋にある四角い積み木を持ってきてカメラを撮るあそびをしています。「カシャッ」写真を撮った後はしっかり確認をして「めっちゃ可愛いね」のことばに思わず笑ってしまいました。保育者がカメラを見ながら確認するところをよく見ているのですね。

“お散歩たのしいね”

5 月は半分ずつに分かれてお散歩にも行きました。先生と手をつないで保育園の周りを一周する短いお散歩でしたが、子どもたちにとっては保育園での初めてののお散歩！いつもと違う景色に興奮気味の様子でした。バギーに乗っているお友達も心地いい風が気持ちよさそうで、隣に座っている子と楽しそうにお話をしているみたいでした。天気の良い日にはお散歩にどんどん出かけていき、外の世界にたくさん触れていきたいと思います。



“担任の思い”

お友達や保育者のまねっこがとっても楽しい様子のふたばさん。誰かが真似をしはじめると、その輪がどんどん広がり、クラス全体が楽しい雰囲気になっています。あれもこれも興味津々の子ども達が、色々なあそびを経験する事ができるように、保育者である私たちもたくさんアンテナを張りながら環境を作っていきたいと思います。

そして、6 月になると雨の日も多くなってきます。お部屋の中でも十分身体を動かしていけるようにランチルームも使って発散していきます。また、雨の音に耳を傾けてみたり、水たまりを踏んであそんでみたり、雨の日だからこそできるようなあそびも楽しんでいけたらいいなと思います。

原田 千尋・林 千紗・小板橋 円香

ねらい：「好きな遊びを見つけて、友だちと遊ぶ」

う た：「かたつむり・かえるのうた・かみなりどんがやってきた」

5月は園生活にも慣れ、遊びの中から友だちと関わろうとする姿も増えてきました。

ままごと遊びでは「何飲みますか」「もうちょっとでできるからね」と自分が経験したことから遊びに繋がっています。園庭ではカエルが食べるダンゴ虫を幼児さんと一緒に探したり、「よーいどん！しよう」と身体を動かして遊んでいます。しゃぼん玉をしながら「一緒だね」と顔を見合わせながら微笑む様子に嬉しく思います。井戸から出る水や泥団子作りに興味をもち始める姿も見られます。これから水遊びや泥遊び等ダイナミックに遊ぶことも楽しみにしています。

～ダンゴ虫探し～

ダンゴ虫の絵本を読み始めてから園庭ではダンゴ虫探しが始まりました。初めは、丸まったダンゴ虫が起きると「ちょっと怖い…」と話していましたが、今では花壇の裏や草むらの奥の方を手でかき分けながら探しています。その



姿を見ていた幼児さんからも「こっちのほうがいっぱいいるよ」「ここ見てごらん」と声を掛けてくれることも増えました。一緒に探したダンゴ虫をカップに入れて「寝てるのかな」「おはよう」と大切に持ちながら声を掛けています。つぼみ組のダンゴ虫探しはまだまだ続きそうです。

～おおきくなってね～

連休明けからきゅうりの苗を植え始めました。「これはなに？」「きゅうりができるんだよ」と話すと不思議そうに見つめながらプランターに植えました。その日から園庭に出ると「きゅうりは？」「大きくなったかな？」とつぼみ部屋から一目散にプランターに駆け寄り様子を見ています。「大きくな～れ」と水やりをすることも日課になりつつあります。花が咲き始めると「黄色いお花だね」「葉っぱざらざら」と虫眼鏡を使って葉っぱを観察していました。



つぼみ部屋前のテラスには、朝顔を種から植え始めました。先日、園庭に出る時に「葉っぱあるよ」と芽が生えているのを見つけると、近くにいる友だちと微笑みながら見ていました。朝顔が咲くこと、きゅうりができることを楽しみにしているようです。



“担任の思い”

ままごと遊びやダンゴムシ探し、しゃぼん玉など遊びの中から友だちと一緒に遊びたい気持ちも見られ「一緒に遊ぼうよ」と声を掛ける姿も増えてきました。パズルや紐通しなど1人で集中して遊ぶことを楽しむ子もいます。「1人であそびたい」「先生と一緒に」「友だちとあそびたい」のそれぞれの気持ちに保育者が寄り添い、関わりることを大切に見守っていきたいと思っています。

また、いろんな経験から遊びが広がるようになってくると子ども達の“不思議”や“発見”に寄り添っていきたいと思います。

日笠 加菜・星加 由美子・山本 あかね

ねらい：「興味のあるものを知ろうとする」

う た：「ドレミの歌」「雨ふり」

天気の良い日は毎朝園庭に出て、泥団子を作ったり虫探しをしたりしています。カエルを見たり触ったりする子も増え、新しくきたカニの動く姿を見て「大きいね」と言っていました。ダンゴ虫は日に日に捕まえる数が多くなり、カップの中を見てみると真っ黒で「何匹いるの!？」といった状態です。生き物探しはまだまだ続いていくので、楽しみです。

～豆ってたくさんあるね～

先月から育てている枝豆は、少しずつ大きくなっていきます。隣に並んでいる、つぼみ組のきゅうりの葉っぱと見比べ、「枝豆さんは小さい葉っぱだね」と言いながらお水をあげる子ども達。枝豆だけでなく、きゅうりにもお水をあげてくれています。

今月は、えんどう豆の皮むきを行い、「これご飯にあるんだよね」「小さくてかわいい」と言いながらむいていました。全てむけると、栄養士の先生に「お願いします!」と嬉しそうに持っていきお昼ご飯を楽しみに待っていました。

いよいよご飯の時間となり、「〇〇がむいた豆だ」「おいしい!」とみんな素敵な笑顔で食べていました。

今いぶき組で豆と言えば〈そら豆〉。先月そら豆の皮むきでは、ふわふわベットの発見しましたが、今月は焼いたそら豆だったので「どんなのかな・・・」と楽しみに出会いました。「焼いたらふわふわなくなってる・・・」と、少し残念な表情のみんなでしたが、豆を食べてみると「おいしい!」と言って完食していました。

そら豆くんの絵本を見る事で、色々な豆を知ることができたいぶき組。まだまだ出会いは続きます。

～一人で行けるよ～

4月からだい組のペアのお兄さんお姉さんに、昼食でのバイキングの流れから自分の席まで運ぶ所まで手伝ってもらっていましたが、「みんな自分で出来るよね。やってみよう!」と遠足行った次の日から自分で運んでいます。保育者が「ゆっくりでいいよ」と伝えながら見守っていますが、子ども



達は意識しながら、ゆっくりお盆を持ち上げ、自分の席まで忍び足のように歩いて行っています。席まで着くと「できた!」と言い、ホッとした表情です。席についてまだ来ていない子を待っている時も、「こぼれなかったね」「お茶もあるよね」と確認合っている姿も見られました。少しずつ自分で出来る事も増えてきているので、成長を見守りながら出来たことを共感していきたいと思います。

“担任の思い”

そら豆くんの絵本シリーズの中で『そらまめくんのながいながい豆』を見た時に、新しい“さんじゃく豆”が出てきました。「長い豆なんだって」「すごいね」と言う子ども達でしたが、別の絵本の『まめ』を見るとさんじゃく豆が出てきました。「この長い豆はなんだろう?」と保育者が尋ねると「さんじゃく豆!」と答えてくれる子どもがいました。さんじゃく豆は親しみがあまりないので、子ども達にも今後何かの形で知らせていこうと思います。園庭にある、枝豆が少しずつ出来てきました。水や太陽も大切ですが、みんなの愛情もたっぷり注いで大きくなって欲しいです。

ねらい：「友だちと遊ぶなかで友だちの思いを知る」

う た：「あめふりくまのこ」「あまだれぽったん」

ひかり組での生活に慣れ、自分で好きな遊びを見つけ友だちと楽しく遊ぶ姿、いぶき組やだいち組、乳児の子ども達など異年齢の友だちとも楽しく過ごしています。また保育者にも慣れてきて、発見したことを教えてくれたり、「〇〇したい」「〇〇しよう」と遊びに誘ってくれたり、思いを伝えてくれるようになってきました。わからないことは子ども達に教えてもらったり、子どもと一緒に考え、新しい発見をしながら日々、過ごしています。

“だいち組への憧れ”

ひかり組になって新しく出来ることが増えたり、友だちと楽しい遊びを見つけ一緒に遊んでいます。子ども達からもたくさんの出来事を聞くことが増えました。そんな中でだいち組への憧れを子ども達が抱いていることを知りました。だいち組が作ったタワーを真似て作ってみたり、「だいち組みたいにたくさんお出かけがしたい」と言う子どももいました。どこに行きたいのか尋ねてみると、だいち組が行った姫路城と言う子どもや、動物園・水族館など様々な場所が出てきました。

「だいち組になったら僕たち、私たちも行くんだ」とわくわくしている様子でした。



“水族館にいったよ”

バス遠足で須磨海浜水族園に行きました。行く前から魚の図鑑を見て楽しみにしていました。当日は雨でしたが、みんなレインコートを着て準備万端。バスの中では、歌を歌ったり、クイズをしたり楽しい時間を過ごしました。水族館に着くと、おにぎりタイム。

おにぎりを美味しそうに頬張る姿がかわいかったです。みんなが1番楽しみにしていたイルカショーでは、夢中になっているかを見ていました。後で聞いてみると、「イルカかわいかった」

「ジャンプすごかった」と目を輝かせて話していました。

館内を歩いて魚を見ていましたが、タカアシガニが子ども達の中で印象的だったようです。保育園にいるカニより、すごく大きくて驚いていました。「手大きい」「私より大きいかな」と子ども同士で話している姿もありました。他にも、ペンギンや大きな魚、エイなどたくさん見ることが出来ました。保育園に戻ってから子ども達の喜びは止まらず、絵を描いたり、図鑑を見て友だちと話している姿がありました。水族館に行って数日経った今でも、図鑑を見ながら



水族館を思いだし、「もう一回いきたい」と言っています。すごく楽しかったようで良かったです。

“担任の思い”

初めての子ども達との遠足でした。遠足に行く前から子ども達と「〇〇見れるかな」と話しており、私自身も楽しみにしていました。水族館に着いた時の嬉しそうな顔や、泳いでいる魚やイルカ、ペンギンなどを見ている時の真っ直ぐな瞳がすごく輝いていました。その子ども達が印象的でした。そんな子ども達をこれからも見届けたいと思いました。

そして、子ども達から“やりたい”という想いを聞くことが増えました。子ども達の中で思った事や、やりたいという気持ちを大切に、これから様々な経験をする中で子ども達自身がたくさん考え、想いを受け止め、少しでも叶えられるように関わっていきたいと思います。

松岡 桃花

～だいちぐみ～

ねらい：「命について考える」「地域のひとと関わる、気持ちのいい挨拶をする」

う た：「まあいいのち」「空にらくがきかきたいな」「だいだいだいぼうけんのうた」

先月、『命』に向き合う場面が多くありました。様々な生き物の死を通して、それぞれが感じたことや考えたことをクラスで話し合いました。自分の命はもちろんですが、自分たちのまわりにある命も一つ一つがとても大切だということを感じて欲しいと思っています。自分が生まれたときのことをお母さんに聞いたことも、子ども達の心に残ったようです。エピソードを聞いたことで、感じた思いをこれからも心の中に残してほしいです。

また今月から地域の交流会にも出かけていきます。初めて会う友達にも挨拶をしたり話しかけることで、園の外の世界を知り、関わりを楽しんで欲しいです。



“姫路城に行ってみよう”

積み木での姫路城作りがどんどん進んでいって、だいち組のみんなのお腹あたりの高さになった時、「いったいどこから入るんだろう？」という疑問が生まれました。姫路城の写真を見ながら作っていたので、もしかすると写真には写っていないところに入り口があるのかもしれないという話になり、全員で相談して実際に姫路城に行くことにしました。しかし、だいち組になって初めてののお出かけでもあり、距離が遠いこともあり、行くことが決まってからは話し合いをたくさん重ねていました。持ち物はなにが必要なのか、バスで行くのか電車で行くのか、歩いていくのか…。始めは友だちの意見を聞くだけだった子も話し合いを重ねていく中で自分の意見を周りに伝えようとする姿が見られたり、お父さんやお母さんに話を



した。

そして待ちに待った当日。みんなで調べたバスと電車に乗って無事に姫路城までたどり着くことができました。姫路駅についてお城が見えた途端大喜びで、ご飯を食べた後、急いで着物を着たり、ちょんまげを付けたり、うちわを持ったり準備をして、いざお城のなかへ！入ってみると、見るもの一つ一つに興味津々で、「見てみて！こっちにはこんなものがあるよ！」と教えてくれたり、「これは何に使われていたのかな？」と想像する様子も見られました。大人の足でも一番上まで登りつくことは大変ですが、興味があるからこそ最後まで登ることができていました。



だいち組になって初めてののお出かけは大冒険になり、今でも行った時の写真を見返しながら、お城作りが続いています。門や石垣など以前よりも工夫が見られ、完成するのが楽しみです。

“担任の想い”

子ども達のキラキラした目を見ると、姫路城に行くまでに昔の生活やお城について調べたり、遊び込んでいただいちさんにとって、今回の経験はとても大きな出来事になったのではないかなと感じました。今子ども達の不思議に思うことややってみようと思うことを、とことん追求し一緒に楽しんでいきたいと思っています。そのなかで悩んだり、困ってしまうことがあっても、話し合ったり力を合わせて乗り越えられるような仲間であって欲しいと思います。これからどのように姫路城から遊びが続いていくのかも楽しみです。子ども達の心がどのように変化していくのかにも注目して、過ごしていきたいです。

林 奈津美

保護者の方からのおはなしコーナー

いぶき組の頃は幼児クラスで下のクラスだったのでお兄さんお姉さんに甘えているところがありましたが、「ひかりさんだからもうできるよね?」、「下の子のお世話するんだよね、頑張ってみよう」など声掛けすると、自分から動けるようになってきました。ひかりさんの1年間の成長が楽しみです。

ひかり組 なつみさん

保育園で覚えた歌をお家でよく歌っています。最近では、即興でアレンジして替え歌を歌って楽しんでいます。

つぼみ組 まどかさん

毎晩、布団の中で眠りに落ちる前の会話です。

娘「ねえ、大、大、だーいすき!

あっ、そうだ! 寝ている時トイレに

行きたくなったら一緒に行ってくれる?」

母「うん。」

娘「のどが渇いて水が飲みたくなった時も一緒に行ってくれる?」

母「いいよ。」

娘「鼻水が出てティッシュでかみたくなった時も一緒に行ってくれる?」

母「はい。」

娘「ほんまやで。忘れて怒ったらあかんで。」

『もう! 眠いんやから早く、早く、早く行きなさい!』って怒らんとってよ。」

「ほんまに怒らんとってよーっ。」

母「はい、はい。」

私の腕にぎゅーとしがみついて大好きだと言いながらもプチ講義してくる娘。

なんだか、とっても女の子です。

だいち組 さきこさん

先日お迎えに行くと、少しそわそわしていた娘。どうやら外遊びの時間が過ぎてもお友達と遊び続け、片付けもせずにお部屋へ…。娘を先生の所へ連れて行くと、しっかり厳しくとても丁寧に叱って下さいました。「何をすべき時間だったのか。」「お片付けされないおもちゃが、かわいそうです。」と日々そんな風に子どもと向き合っていて、先生方に改めて感謝です。

いぶき組 ゆきさん

兄が3月に卒園し、「お兄ちゃん大好き」な娘は4月お兄ちゃん&かえで組口スでぐずぐず家で大泣きでした。

ただ、保育園では頑張りやで新しいお友達の名前を覚え、今ではめばえ組のお友達の名前を私に教えてくれます。頼もしいです!

ひかり組 よしえさん



☆お台所から☆

紫陽花の花が少しずつ色づき始め、梅雨の気配を感じる季節になりました。体も疲れやすくなってきますが、子どもたちの食欲が落ちてしまわないよう今月も旬の食材を多く取り入れ、暑さに負けず活動できるよう、食べやすい献立を考えていきます。また、食中毒が発生しやすい時期なので、衛生管理に十分気を付けて安心・安全な食事を作っていきます。

5月の食育活動では、フキのすじ取り、えんどう豆のさや剥き、じゃがいもの皮むき、白玉団子作り、おにぎり作りなどをしました。フキのすじを取っていると「見て、長いのが取れたよ」「ひげみたい」と取ったすじを見せて話していました。えんどう豆は今回もいぶき組が剥いてくれたのですが、前回よりも少し量が多かったのですが、すいすいと剥いてくれてあっという間に仕上げてくれました。ごはんを食べている時に話を聞くと「豆いっぱいあったよ、楽しかった」と嬉しそうに話していました。だいち組はおやつのがじゃがバターに使うじゃがいもの皮むきをしました。全クラス分だったので6キロもあったのですが、みんな一つずつ丁寧に剥いてくれました。「めっちゃがんばったよ、美味しくつくってね」と重たいじゃがいもをみんなで持ってきて話していました。

かえで保育園の離乳食は、「西宮市の離乳食の進め方」を目安に個人の成長に合わせて分量や形状を考え、おやつもその日の献立に合わせて「食べられるもの」を作ります。乳児の離乳食はどの様なものかわかるよう新しく展示食にも離乳食を追加しました。確認ください。



6月に予定している食育活動

- ・たまねぎの皮むき、じゃがいもの皮むき、おにぎり作り、ごへいもち作り、梅ジュース、梅干し作りなどを予定しています。

6月の献立 旬の食材

さわら	つるむらさき	オクラ	なす
モロヘイヤ	びわ	なつみかん	みしょうかん

<かえで保育園のおすすめレシピです♪>

<マシュマロクラッカー>

【材料】

- ・マシュマロ 3個
- ・クラッカー 12枚
(リッツがおすすめです)

【作り方】

- ①マシュマロを半分に切り、6枚のクラッカーに乗せる。
- ②140℃のオーブンで5分程焼いた後、マシュマロが熱いうちに残りのクラッカーを乗せて挟めば出来上がり。



フキのすじ取り



えんどう豆のさや剥き



じゃがいもの皮むき



- ・武庫川短期大学保育実習2名が入ります。
(10～21日まで)
- ・22日～26日で築山を張り替えます。
その間は築山を使えません。
- ・近隣の幼稚園・保育園と交流が始まります。

こんなことしたよ♪

5月15日は子どもの日の集いがありました。
幼児さんは新聞紙で作った手作り兜をかぶって参加をしました。
皆で鯉のぼりや背比べの歌を歌ったり、子どもの日の話を聞いて楽しみました。
また、おやつの手作りの柏餅も子ども達で包みテラスで鯉のぼりを見ながら味わいました。



5月25日は保護者会がありました。
子ども達の可愛い写真がたっぷりのスライドや、かえで保育園で大切にしている事を時間をかけてお伝えしました。
その後の「みんなであそぼう」では、2人組で活動されている『かばうま』さんと、乳児と幼児に分かれて親子の音楽触れ合い遊びを行いました。
大人も子どもも、たくさんの笑顔あふれる素敵な会となりました。



☆お願い☆

- ・これから雨の日が多くなります。
駐車場ご利用の方は、短時間の利用にご協力下さい。
- ・レインコート使用の際は、玄関のレインコートかけをご利用ください。
- ・傘立てに置き傘はしないで下さい。
同じ傘がよく見られます。名前のご記入をお願いします。



《6月の予定》

- 5日(水) だいち 松秀幼稚園交流会
- 6・7日(木・金)
*幼児クラス尿検査
詳しくはお手紙でお知らせします
- 15日(土) ダンディタイム
*15:00～19:00
- 18日(火) 歯科健診 10:00
- 19日(水) 誕生会
- 21日(金) 月例健診 14:30
- 25日(火) 眼科健診 14:30
*詳しくはお手紙でお知らせします
- 29・30日(土・日) 同園会
*卒園児にははがきでご案内します
- *絵画7日(金)・17日(月)
- *体操6・13・20・27日(木)

《クラス懇談会のお知らせ》

- 6月 6日(木) ひかり
- 10日(月) いぶき
- *詳しくはPOPでお知らせします

《7月の予定》

- 9日(火) 耳鼻科健診 13:30
- 12日(金) 七夕まつり

